

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

チームへの諸連絡⑤ ユニフォーム事前確認フロー

今大会に出場するチームは、2015～競技規則（Official Basketball Rules2014）に基づき、下記の方法にて着用ユニフォームを確認いたします。ただし、ユニフォーム広告に関しては、この規定の限りではありません。

1. 確認事項

- ・ シャツの色とデザインの範囲
- ・ シャツの番号（番号の位置、大きさ、幅、色）
- ・ シャツのマークとロゴ
- ・ パンツの色とデザイン
- ・ パンツの長さ

2015～競技規則 第3章第4条3.1

パンツの長さはひざ上までとする。ひざ頭にかかってしまう長さのパンツは、公式大会のユニフォームとしては認められない

- ・ パンツの番号
- ・ パンツのマークとロゴ

2. ユニフォーム事前確認方法

提出写真

- ① 大会エントリー手続きを行う際、大会で着用するユニフォームの写真（選手が着用し、前面・背面、および変更点であるパンツの長さについて分かる写真）を添付し提出する。

（提出写真）

- ・濃淡ユニフォームを着用した選手の前面全身写真各 1 枚
- ・濃淡ユニフォームを着用した選手の背面全身写真各 1 枚

- ② チームは、実施委員会に事前提出したユニフォーム写真の点検を受け、承認を得る。

3. ユニフォーム規程に反している場合

- ① チームは、実施委員会より受けたユニフォームに関する指導・通告に対し改善をし、遅くとも当該チームの試合開始 10 日前までに写真の再提出を行う。
- ② チームは、大会 10 日前までにユニフォームの改善ができない場合、その理由および改善できる期日を明記した文書を、実施委員会へ提出する。

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

4. 再々確認

- ① 上記3-②を提出したチームは、再点検の期日までに、改善したユニフォーム写真(2-①と同様)の写真を提出する。
- ② チームは、実施委員会に再提出したユニフォーム写真の点検を受け、承認を得る。
- ③ 必要に応じて①②を繰り返し、遅くとも大会前日までに、着用するユニフォームの承認を得る。

5. チームは、大会当日およびゲーム中下記の点に留意すること

①大会当日

- ・ 大会時に着用するユニフォームは、事前に承認されたユニフォームであること
- ・ シャツ・パンツの着用の仕方については、規則を逸脱することのないように十分に気を付けること（特にパンツの着用の仕方）
- ・ 選手は、明らかに違反する長さのパンツを着用して試合に出場（コート上でプレイ）しないこと

②ゲーム中、下記のような場合は、当該試合の審判の指示・判断に従うこと

- ・ 明らかに違反する長さのパンツを着用して試合に出場しようとし、止められた場合。正しく着用された際に試合出場を認める。
- ・ パンツの長さについて、その着用の仕方に問題があると判断し、その場で正しく直させること。
- ・ パンツの長さに明らかな規定違反が認められた場合、もしくはパンツを正しい長さで着用することのできないと判断され、当該試合を担当する審判員の権限によって、その選手の交代を命じた場合。

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

【別添：規程】

ユニフォーム規程

ユニフォーム

ユニフォームは原則として日本バスケットボール協会の「ユニフォーム規程」に準ずるものとする。

出場チームは着用するユニフォームの事前確認を受けること。確認方法については「出場チームへの諸連絡⑤ ユニフォーム事前確認フロー」の項を参照すること。

※参照「ユニフォーム規程」（別添）

- ① 原則として組合せ番号が若いチームを淡色とするが、対戦する両チームの話し合いの上で決めてよい。その際、両チーム淡色は不可とし、濃色の際は同系色以外の着用を認める。
- ② チームは濃色・淡色（白色）の各ユニフォームを用意し、濃淡同番号とする。
- ③ そのほか身につけるものは競技規則に準ずるが、アンダーガーメントの着用は別途定める着用に関する規定に準ずるものとする。
- ④ ユニフォームには、ユニフォームの色とはっきり区別できる単色の幅 2cm 以上の番号を付けること。背番号は少なくとも高さ20cm、前の番号は少なくとも高さ10cmとすること。
- ⑤ ユニフォームの番号は、各チームの所属する団体および連盟等の定める番号の使用を認める。

1. ユニフォームの規定

1.1 ユニフォームの定義

1.1.1 本規定における「ユニフォーム」とは、ゲーム中、チーム・メンバー（プレイヤー、交代要員）が着用する「シャツ」と「パンツ」のことをいう。

- 「シャツ」と「パンツ」はかならずしも同じ色でなくてもよい。
- 本規定には、「ウォーム・アップ・ウェア」、「トラック・スーツ」などの規定は含まれない。

1.1.2 ユニフォームの規定における基本的な原則は、次のとおりとする。

- 両チームがはっきりと識別できること。
- プレイヤーの番号が審判とスコアラーにはっきりと見えること。

1.1.3 本規定の内容にかかわらず、各チームは、現行のバスケットボール競技規則に述べられた規定（2015年版は第4条4.3）を遵守しなければならない。

2. シャツ

2.1 シャツの色とデザイン

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

2.1.1 各チームは、淡色と濃色の2種類以上のシャツを用意しておかなければならない。

- 淡色のシャツの色は「白色」が望ましい。
- 濃色のシャツは白色以外の「濃い色」でなければならない。
- チーム・メンバー全員が同じデザインの色や形のシャツを着用しなければならない。

2.1.2 シャツは、前から見てもうしろから見ても、同じ色であることおよび何色のシャツであるかがはっきりとわかるものでなければならない。

2.1.3 「ゴールド（金色）」、「レモン・イエロー（黄色）」などの色については、次のとおりとする。

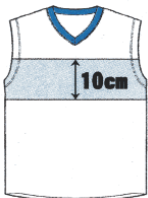
- 濃色として用いるときは、相手チームが着用する白色やその他の淡色のシャツとはっきりと区別できる濃い色合いのものでなければならない。
- 淡色として用いるときは、相手チームが着用する濃色のシャツとはっきりと区別できる淡い色合いのものでなければならない。
- 1チームが同じ色を「淡色」としても「濃色」としても用いることは認められない。

2.1.4 「グレー（灰色）」、「シルバー（銀色）」は淡色としても濃色としても認められない。

ただし番号や切替、付属などについては、これらの色を用いてもさしつかえない。

2.1.5 シャツのデザインの範囲は、次の例のようなものとする。

①



※シャツを横切る切替幅は「10cm」以内とする。

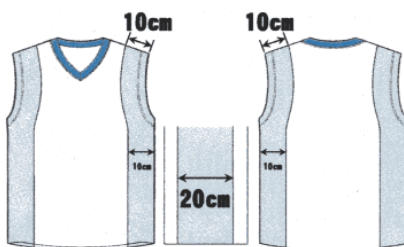
※切替が斜めに入る場合でも、同様に「10cm」以内とする。

②



※肩辺りの切替幅は頂点または衿下から「15cm」以内とする。

③



※脇切替の幅は「20cm」以内とする。

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

- 上記①、②、③は融合して適用することができる。
いずれの切替幅も、ライン、パイピング等を含めた寸法である。
- 上記の切替幅の範囲内であれば、「星」、「ダイヤ」などのプリントを入れたり、「グラデュエーション」などのデザインを施すことも認められる。
ただし、前も背中も、切替部分からシャツの番号までは「5 cm」以上離れていなければならない（下記 2.2.1 参照）。
- 細いライン（ストライプ：「縦」「横」「斜め」にかかわらず）は、ラインの幅が「2 mm」以内で、ラインとラインの間隔が「3 cm」以上のものであれば認められる。この規定を逸脱するストライプは認められない。

2.2 シャツの番号

2.2.1 チーム・メンバーは、シャツの前と背中の見えやすい位置に、シャツの色とはっきりと区別できる単色の番号を付けなければならない。

- 前の番号は中央に付けなくてもよい。
ただし、番号を見えにくいところに付けてはならない。
- **前も背中も、シャツの番号は、すべてのマークやロゴ、シャツの切替部分から「5 cm」以上離れていなければならない。**

2.2.2 前の番号の高さは「10 cm」以上、背中の番号の高さは「20 cm」以上なければならない。

- 番号の縁取りや縫い取りの部分は高さには含めない。
すなわち、縁取りや縫い取りの部分を除いた番号の高さが、それぞれの規定以上なければならない。

2.2.3 番号は、それぞれの数字の線の幅が「2 cm」以上なければならない。

- 最も幅のせまい部分が「2 cm」以上であること。
- 番号の縁取りや縫い取りの部分は「2 cm」に含めない。
すなわち、縁取りや縫い取りの部分を除いた番号の幅が「2 cm」以上なければならない。

2.2.4 番号の色は、シャツの色と対照的な色でなければならない。

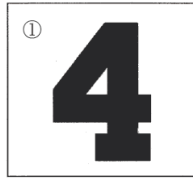
- **番号の色は、縁取りや縫い取りがない番号単独の状態でもはっきりと見える対照的な色のものでなければならない。**

2.2.5 番号は、縁取りや縫い取りも含めて、チーム・メンバー全員が同じ色、同じデザインのものを付けなければならない。

- 縁取りや縫い取りの色については規定しない。
- 1重の縁取り（図の②）、2重の縁取り（図の③）、中抜きの縁取り（図の④）は

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

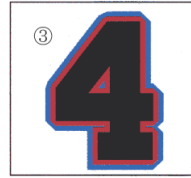
認められるが、立体に見える縁取り（図の⑤）、影付きの縁取り（図の⑥）などは、番号がわかりにくくなるので認められない。



※縁取りなし（可）



※1重の縁取り（可）



※2重の縁取り（可）



※中抜き縁取り（可）



※立体に見える縁取り（不可）



※影付きの縁取り（不可）

2.2.6 円形・矩形・楕円形などのデザインで番号を囲むことは認められない。

2.2.7 番号は、「0」、「00」、「1」、「2」、…、「99」までが現行の競技規則で認められている。

- 「01」、「02」、…、「09」は番号として使用することができない。
- 同一チーム内で「0」、「00」を同時に使用することができる。
- 規則に認められた範囲内であっても、大会主催者は、使用する番号を制限することができる。

2.3 シャツのマーク、ロゴ

2.3.1 シャツの前の部分には、次の①、②のマーク、ロゴを付けることができる。

①チーム名、チーム・ロゴ

②チームのマーク

- マーク、ロゴを付ける場合は、チーム・メンバー全員が同じ色、同じデザインのマークやロゴを付けなければならないし、いかなる場合でも、シャツの色および番号がわかりにくくなるような大きさやデザインのものは認められない。

2.3.2 シャツの背中部分には、次の①～③のマーク、ロゴを付けることができる。

①チーム名、チーム・ロゴ

②都道府県・都市・地域名

例：“Tokyo”、“TOKYO”、“東京”

“Shinagawa”、“SHINAGAWA”、“品川” 等

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

③プレイヤーの名前（姓／名あるいはコート・ネームなどにチーム内で統一すること）

例：“Nihon”、“NIHON”、または“Taro”、“TARO”等

- マーク、ロゴを付ける場合は、チーム・メンバー全員が同じ色、同じデザインのマークやロゴを付けなければならないし、いかなる場合でも、シャツの色および番号がわかりにくくなるような大きさやデザインのものは認められない。

2.3.3 上記のマーク、ロゴとは別に、シャツに製造者マーク（メーカー・ロゴ）を付けることができる。

- 大きさは「 20cm^2 」以下とする。
- 位置は特に定めないが、1枚のシャツにつき1カ所とする。

2.3.4 シャツに広告や商標等を付ける場合は、大会主催者に許可を受けなければならない。

- 大会主催者が認めた場合でも、シャツの前と背中にそれぞれ1スポンサーずつの最大2スポンサーまでしか広告や商標等を付けてはならない。
- 広告や商標はそれぞれについて1行までとする。

3. パンツ

3.1 パンツのデザイン

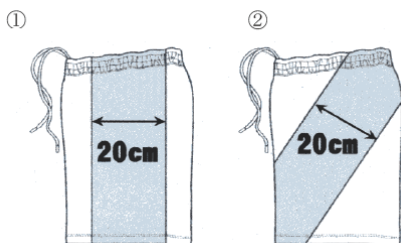
パンツの色やデザインについても、シャツに準ずるものとする。

3.1.1 パンツは、前から見てもうしろから見ても、同じ色であることおよび何色のパンツであるかがはっきりとわかるものでなければならない。

3.1.2 パンツの色は、かならずしもシャツと同じ色でなくてもよい。

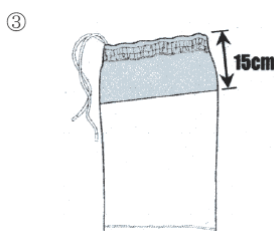
3.1.3 パンツの長さはひざ上までとする。ひざ頭にかかってしまう長さのパンツは、公式大会のユニフォームとしては認められない。

3.1.4 パンツのデザインの範囲は、次の例のようなものとする。パンツのデザインの範囲は、次の例のようなものとする。



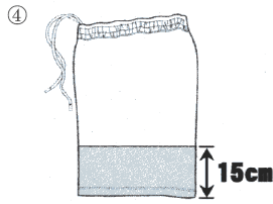
※サイドの切替幅は「 20cm 」以内とする。

※②のように斜めに切替が入った場合でも、切替幅は「 20cm 」以内とする。



※腰の切替幅は「 15cm 」以内とし、ウェスト・ゴムも切替幅の一部とみなす。

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会



※パンツの裾の切替幅は「15cm」以内とする。

- 上記①、③、④は融合して適用することができる（裾広がりデザインなどの場合）。
いずれの切替幅も、ライン、パイピング等を含めた寸法である。
- 上記②、③、④は融合して適用することができる。
いずれの切替幅も、ライン、パイピング等を含めた寸法である。
- 上記の切替幅の範囲内であれば、「星」、「ダイヤ」などのプリントを入れたり、「グラデュエーション」などのデザインを施すことも認められる。
- 細いライン（ストライプ：「縦」「横」「斜め」にかかわらず）は、ラインの幅が「2mm」以内で、ラインとラインの間隔が「3cm」以上のものであれば認められる。
この規定を逸脱するストライプは認められない。

3.2 パンツの番号

パンツにも番号を付けることができる。

3.2.1 パンツに番号を付ける場合は、チーム・メンバー全員のパンツに番号が付いていなければならない。

3.2.2 パンツの番号の位置、大きさ、色（ただし単色であること）や縁取りなどは特に規定しない。

- チーム・メンバー全員が同じ位置に同じ大きさ、同じ色、同じデザインの番号を付けていなければならない。

3.2.3 シャツの番号とパンツの番号が異なったユニフォームを着用しているプレイヤーは、ゲームに出場することはできない。

3.3 パンツのマーク、ロゴ

3.3.1 パンツには次の①～④のマーク、ロゴを付けることができる。

- ①チーム名、チーム・ロゴ
- ②チームのマーク
- ③都道府県・都市・地域名
- ④プレイヤーの名前（姓／名あるいはコート・ネームなどにチーム内で統一すること）

- マーク、ロゴを付ける場合は、チーム・メンバー全員が同じ色、同じデザインのマークやロゴ

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

を付けなければならないし、いかなる場合でも、パンツの色がわかりにくくなるような大きさやデザインのものは認められない。

3.3.2 上記のマーク、ロゴとは別に、パンツにも製造者マーク（メーカー・ロゴ）を付けることができる。

- 大きさは「20cm²」以下とする。
- 位置は特に定めないが、1枚のパンツにつき1カ所とする。

3.3.3 パンツに広告や商標等を付ける場合は、大会主催者に許可を受けなければならない。

- 大会主催者が認めた場合でも、パンツのうしろに広告や商標等を付けてはならない。
- パンツに付ける広告や商標は、1スポンサーまでとする。
- 広告や商標は1行までとする。

4. 附則

4.1 効力の及ぶ範囲

4.1.1 本規定は公益財団法人日本バスケットボール協会が主催する国内の公式大会についてのみ効力をもつ。

- FIBAの大会においては、FIBAの規定（現行「Internal Regulations 2010」）を参照すること。

4.1.2 国内の公式大会においても、各連盟の規定および各大会規定を遵守すること。

- 例えば、国民体育大会（国体）においては、「番号、マークに縁取りを付けてはならないこと」、「マークは都道府県名の漢字とし、文字の大きさは縦10cm以上、横7.5cm以上とすること」などが規定されている。

4.2 規定の改正

4.2.1 本規程の改正は、理事会の議決を得てこれを行う。

4.3 規定の施行

4.3.1 本規定は、平成19年（2007年）6月13日より施行する。

4.3.2 平成22年（2010年）6月13日まで3年間の移行期間をおく。

4.3.3 3.1.3 条項の移行期間については別途定める。

平成25（2013）……年5月15日 一部改定

平成27（2015）年4月1日 一部改定

第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

サポーター、アンダー・ガーメント、パワータイツ等の着用に関する規定

- ・パンツの下にパンツより長いパンツ様のもの（パンツからはみ出してしまうアンダー・ガーメント、パワー・タイツなど）をはくことは、パンツと同様の色であっても認められない。パンツからはみ出さないものについては、着用してもさしつかえない。
- ・本大会においては下記の条件を満たすものについては着用を認める。「2015～バスケットボール競技規則（Official Basketball Rules2014）」の18頁「4.4 そのほかの身につけるもの」で身につけてもさしつかえない。と明記されているもの。
- ・本大会においては下記の条件を満たすものについては着用を認めるが、着用の際色の指定をまもり、着用者がチーム内に複数人いる場合は、チーム内で色を統一すること。
- ・シャツからはみ出してしまう上半身用および腕用サポーター様のもの（パワーサポーター、パワースリーブなど、通常のサポーターも含む）の着用。着用の際はシャツと同色を原則とし、濃色シャツの際は黒色、または紺色のものを可とする。
- ・ソックス様・ストッキング様の下肢部のサポーターや、ソックス様・ストッキング様ではなくても大腿部のサポーターの着用。またこれらを着用する場合は、下腿部のものは膝下までのもの、大腿部のものは膝上までのものでなければならない。したがって、ひざ頭にかかってしまうようなものは認められない。着用の際はパンツと同色を原則とし、濃色パンツの際は黒色、または紺色のものを可とする。

● 競技中着用できないもの



第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

- サポーターとして着用可能なもの。（膝・足首） ※色はユニフォームに合わせなくてよい



- サポーターとして着用可能なもの。（腕・手） ※色はユニフォームに合わせなくてよい



第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

- ユニフォームと色と同色であれば着用可能なもの（足）（腕）
※濃色のユニフォームの場合は、黒色または、紺色のものは着用可とする。



- ユニフォームからはみ出さなければ着用可能なもの
※はみ出さない部分の色に関しては特に規制はない。



第93回天皇杯・第84回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

- その他特別規制しないもの

※ユニフォームの色等関係なく着用可能。ヘアゴム・ヘッドバンド・リストバンド、ノーズガード、フェイスガード。

